

『日出生台でまた米軍訓練』

ローカルネット大分・日出生台 浦田 龍次

日出生台での9回目となる米海兵隊による実弾砲撃訓練がまた始まろうとしている。2月1日から日出生台入り、撤収するのが2月29日とされているので、2月はまるまる1ヶ月、日出生台に釘付けとなりそう。

さて、2012年の日出生台での米軍訓練。規模は、人員約220名。車両約50両。155ミリリュウ弾砲の砲数6門と発表されている。実際には、これに2010年から新たに加わった小銃・機関銃が持ち込まれるはずなのだが、これについてはまったく情報なし。米軍は使いたい武器を、好きなだけ持ち込めるという状況だ。さて、この米軍訓練、あらためてこれまでの過去8回を振り返り、問題点を整理してみた。

(1) 当初の国の説明とまったく違う訓練

国は当初、日出生台をはじめとする本土5ヶ所へ移転となる米軍訓練は、「155ミリリュウ弾砲の実弾砲撃訓練」と説明していた。始まりこそ説明通りだったが、日出生台では7回目の訓練から様々な小銃・機関銃の実弾射撃も追加されることになった。

さらに、国は移転になる米軍訓練を「沖縄と同質、同量」と説明してきたが、沖縄での155ミリリュウ弾砲演習では行われていなかった夜間砲撃を行い、さらに、照明弾、白りん弾という新たな種類の砲弾も7回目から使われるようになった。この照明弾、白リン弾は、使用に伴い3件の林野火災まで発生することになった。

(2) 米軍訓練は米軍だけの訓練ではない。

米軍訓練というのだから当然米軍が訓練をするのだが、その訓練は米軍だけの訓練ではない。米軍の周囲には自衛隊が常に後方支援体制で待機し、けが人が出たときにはヘリコプターで病院へと運んだり、その事前訓練などが日米共同訓練ながらに行われている。さらに、この米軍訓練では地域の様々な民間機関が総動員される。米兵らは、民間のチャーター機で、民間の大分空港に到着し、地元の民間バスに乗って日出生台演習場へと入る。米軍車両や155ミリリュウ弾砲は、民間の貨物船に乗せられ、大分県が管理する民間の港へ接岸し、そこから警察の信号検査や警備の下で、車両は自走し、リュウ弾砲は民間トラックに乗せられて日出生台演習場へと運び込まれる。

米軍が使用する弾薬も、佐世保から民間トラック(日通)に載せられて、日出生台まで運ばれてくる。米軍の部隊移動に関する情報は地元の自治体には伝えられるが、口外するなどの米軍からの要請で、情報統制訓練のごとく箇口令がしかれることとなる。

また、演習中のけが人、病人の治療は、地元の民間病院が利用されることになる。

このように、本土5ヶ所で行われる米軍訓練は、沖縄でのそれとまったくことなり、あらゆる場面で、本来は軍事には関係のないはずの民間機関が総動員されることになる。それはさながら、2003年に成立した有事法を、いざというときに実際に機能させるための平時からの実地訓練として、毎年繰り返されている。

(3) 当初の大義名分は消え、米軍は訓練優先姿勢をむき出しに

この米軍訓練、当初は「沖縄の痛みの分散移転」「県道104号線越え実弾砲撃訓練の移転」という名目で本土5ヶ所へと移転された。しかし先に述べたように、今や県道104号線で行われていた155ミリリュウ弾砲の訓練とはまったく違う訓練、量、質ともにはるかに拡大された訓練が本土5ヶ所で実施されている。米軍の説明会においても、彼らの口から出てくるのは「日米安全保障の責務を果たす」という言葉のみ。彼らにとつて、「155ミリリュウ弾砲演習の移転」は当初の名目に縛られていた段階を終え、新たに獲得した本土5ヶ所の訓練場は、彼らのやりたい訓練をやりたいようにやる場にされつつある。こうっておけばこの延長線上にあるものは、米軍演習の恒常化、常態化。さらには米軍の常駐、基地化ということにもなりかねない。

やはり、私たちは、この現場で地道に声を上げ続けていくしかない。何度繰り返されてもはっきりと意志表示しよう。私たちが求めるのは、本当に安心で安全な暮らし。沖縄や日出生台をはじめ、どんな地域や人々をも犠牲にすることのない安全保障。武力によらず、信頼醸成に基づく国際平和の実現だ。エネルギーに新たな転換が、今、求められているように、安全保障においても、今、新たな転換が求められている。日出生台からそれを作りだしていく。

※ 2月10日（金）18時～ 監視センターダーの畠で【ピースキャンドル】

※ 2月19日（日）13時～ 草の根の会【日出台ゲート前集会】

その他の取組みについては ローカルネット大分・日出台ホームページをご覧下さい。

<http://www.jca.apc.org/~uratchan/localnet/lonets.html>



No. 197号

2012年2月8日

発行人 宮崎 優子

事務局 日高 礼子

☎ 097-544-8892

FAX 097-544-8892

赤とんぼの会

春の総会

4月15日(日)

13：30～

大分市府内5番街
ライフバル2階

2011年度 赤とんぼ意見広告会計報告

収入

2,915,560円

内訳 意見広告募集金額 2,915,554円(2,869人) + 預金利息 6円

支出

項目	金額	備考
広告料	2,628,500	大分合同、朝日、毎日、西日本
印刷費	61,442	チラシ封筒印刷代、コピー代、インク代
事務費	944	収入印紙代、金銭出納帳代
通信費	4,530	チラシ封筒送付、県外賛同者へ新聞送付
会議費	5,730	世話人交通費
家賃	12,000	みんなの家 家賃 6月～9月
合計	2,713,146	

収入 支出 残金
 2,915,560円 - 2,713,146円 = 202,414円 → 会費会計へ

昨年の暮れ、赤とんぼの仲間だった岸田佳宣さんが急逝しました。
 62才でした。

在りし日の岸田さんを偲んで“でんでん虫の寝言”の(み)さんが詩を寄せてくださいました。また3面に岸田さんが2008年9月の会報184号に寄稿された文を掲載します。

おじちゃん

そのおじちゃんが、いつごろ、どこから来たのか誰も知らない。誰も聞かないけど、ごく当たり前のようにおじちゃんは仲間にいた。無農薬栽培の仲間にいて忙しい時はせっせと手伝った。障害のある人た

ちのグループホームで夜勤の人がいないという時、ヒヨイと現われて夜勤をつとめた。そしてその翌日大分駅に集まる“名もなき人むれ”に加わっていたりした。

“名もなき人むれ”は三人や四人の小さなデモである。声高に声をあげることもせず、それでもこの三十年、反戦や反原発を願って歩いている。その小さな集まりにおじちゃんは静かに、にこにこいつも、必ず参加していた。

去年(2011年)の12月8日真珠湾攻撃の日のデモになぜかおじちゃんは現われなかった。「どうしたのかな?」仲間は心配したけれど、多分、また愛用の自転車でキコキコキコとどこかへ旅に出かけたに違いないと思うと話し合った。

田舎の町の側溝に自転車のおじさんが倒れて亡くなっていたと新聞に小さくのっていたけれど、誰も知らない。

もしどこかで、おじちゃんを見かけた方がいたら、ぜひ声をかけて下さい。

「大分でみんなが待っているよ」と。(み)

「命こそ宝」という沖縄の人たちが大切にする言葉。
 2012年は赤とんぼの会30年です。

お便り紹介



この平和運動をみんなでおこすということは、大変だけれどその運動を永く続けるということは、大きなエネルギーとたゆみない努力が必要だったと思思います。今年もヨロシク(国東市T・M)「すばらしい」というよりも、「すごい」と思っています。会の発展を心から祈っています。

連参会日
絡加
先費場時 報告者

語りたいこと、受け継ぎたいこと
『大分県先哲叢書「野上彌生子』

＊ 暑報告会

097-544-3760(豊田)
2月18日(土)13時30分
大分県立図書館第2・3研修室
無料

(編・執筆者、大分女性史研究会代表
の執筆を終えて)

『野上彌生子』

古庄ゆき子編 ドメス出版



おすすめの本

今、日本では1000を超える「9条の会」が発足し政党などへ圧力をかけ続けています。その為もあって自民党候補さえも口先では、9条の擁護を言わざるをえない状況ですが海外における評価はどうでしょうか。それに関しては、一般市民の評価は新聞にはまず載りません。評価は新聞にはまず載りません。新間に載るのは国の代表者およびその側近くらいのものです。それに対して、一般市民の評価を把握するのは私たちNGO仲間の情報が一番確実です（多少断片的な面はあります）。私の関わっているエスペランソ関係者の中には自分の知り合いでアンケートを取った人が何人かおり、その結果は、否定的、懷疑的なのはイスラエル、アメリカに限られ他の国には見つかりませんでした。もちろんそれぞれに温度差はありエスペランソ関係者という断片性は否定できません。しかし、少なくとも一般市民は非戦反戦の傾向が強いことは断言できます。そして彼らが、9条あるいは9条的なものを求めていることは間違い

ないでしょう。

以下に一つの例を紹介します。

エスペランソの全国組織に

「ロンド・ケン」というのが

ありました。この団体は「エ

スペランソを使って憲法9条を世界に知らせる」事を主目

的に20年前に作られ昨年

「エスペランティスト9条の会」として再発足しました。

この間の具体的な活動とし

ては、JUK（世界エスペラン

ト大会）で日本国憲法前文と

第9条のエスペランソ訳を参

加者に配布すること、文通

相手や知り合いに9条の存在

を知らせて世界中で起こされ

ている問題の非軍事的解決を

提言する事、で今も続けてい

ます。しかし、昨年横浜で行

われたJUK（世界エスペラン

ト大会）で何人かの参加者が

ら「日本の憲法9条は大丈夫

か？」最近の日本の政界首脳の

言葉を聞いていると心配だ。」

という問い合わせがあるありさ

まで。もちろん「9条の会」

の話しをすれば安心していまし

た。

「世界中が憲法9条を求めている」道のり考

以上のことから「世界中が憲法9条を求めている」というのは決して誇張ではないと思いま

す。しかし、戦争好き、戦争

を必要とする人はこの事を知られるのを嫌います。そして

残念ながら、マスコミのほとんどは戦争好き、戦争を必要

とする人と同じ路線にあります（多少の濃淡は有りますが）。

しかも、そのマスコミに流される人たちもけっこう多い。

しかし、その人たちのほとんどは、単に現実感に欠けてい

るだけであって戦争というものの実態を知れば結果は変わつ

てくると思います。

全ての事柄、全ての物に歴史は存在するのですが、私に

とつて関心があるのは権力者一人一人が社会の中心にいるは

史は過去には裏の歴史だったのですが、当然今は庶民を基準

にしており、労力の割りには

成果が乏しいという研究する側の事情があると思います。

その理由は、「庶民を基準にし

た社会史」の概念がきわめて漠然としており、労力の割りには

成果が乏しいという研究する側の事情があると思います。

全ての事柄、全ての物に歴

史は存在するのですが、私に

とつて関心があるのは権力者一人一人が社会の中心にいるは

です。ですがどれだけの人がそれを理解しているのでしょうか？

さて、「庶民を基準にした社会史」は過去には裏の歴史だったのですが、当然今は庶民を基準にした社会に成っており私たちにした社会に成っており私たちの基準があると思います。

した歴史という物は存在し、権力者を基準にした歴史とお互いに影響しあっているとも言えます。これほど重要な意味を持つ歴史が、ごく一部の団体・個人を除いてほとんど研究をされないのはなぜでしょうか？

その理由は、「庶民を基準にし

た社会史」の概念がきわめて漠然としており、労力の割りには

成果が乏しいという研究する側の事情があると思います。

確かに現行日本国憲法は、一

時期のアメリカの力を借りて成

立させたわけですが、その背景には自由民権運動者達の努力と

犠牲、15年戦争時のアジア（日本を含む）の人たちの犠牲があ

ることを忘れてはいけないでしょう。

確かに現行日本国憲法は、一

時期のアメリカの力を借りて成

立させたわけですが、その背景には自由民権運動者達の努力と

犠牲、15年戦争時のアジア（日本を含む）の人たちの犠牲があ

ることを忘れてはいけないでしょう。

（岸田 佳宣）

（2008年9月会報18号より）

でんでん虫の ね」と



奉安殿のこと

(み)

戦時中、各学校には奉安殿というものがあった。お社の形をしている小さい建物だった。先生の話では「奉安殿には恐れ多くも天皇・皇后両陛下の御真影がおまつりしてある。だから、前を通り立ちはだかり止り、深くお辞儀をしなければならない」ということだった。私たち校庭を走っているときも奉安殿の前にくると立ち止って深くお辞儀をした。この中にはゴシンエイが入っているらしい。ゴシンエイという言葉が神秘的に響き、見るわけにはいかないけれど、いつたいそれはどういう形をしたものだろうかという興味があった。

年に何度も奉安殿の扉が開く日があった。祝日や祭日のとき安殿の扉を開け、ゴシンエイを取り出して『教育勅語』を読み、モーニングを着た校長先生が白手袋をしてうやうやしく奉安殿の扉を開け、ゴシンエイを直立不動の姿勢で頭を下げづぶされた。その間、私たち女学生は

真影がおまつりしてある。だから、前を通り立ちはだかり止り、深くお辞儀をしなければならない」ということだった。先生の話では「奉安殿には恐れ多くも天皇・皇后両陛下の御真影がおまつりしてある。だから、前を通り立ちはだかり止り、深くお辞儀をしなければならない」ということだった。私たち校庭を走っているときも奉安殿の前にくると立ち止って深くお辞儀をした。この中にはゴシンエイが入っているらしい。ゴシンエイという言葉が神秘的に響き、見るわけにはいかないけれど、いつたいそれはどういう形をしたものだろうかという興味があった。

とき 2月11日(土)13時30分
ところ コンパルホール302(3F)
入場料 一般8百円・しようがい
主催 天皇問題を考える市民ネットワーク
連絡先 TEL・FAX 097-534-6116(しまだ)

田中哲郎の歌とトーク

写真だったという。「でもそのときは、いざとなつたら命をかけて御真影をお守りするつもりだったわよ」。ゴシンエイって何だろう何だろうと思っていたのよ。「ゴシンエイって写真だったのね!昔の女学生たちは奉安殿を思い出して笑ってしまった。

3月10日(土)開演18時
コンパルホール(文化ホール)
一般8百円・しようがい
者・大学生以下5百円
平和のための戦争展 in 大分
090-2087-1186

講師	原発問題勉強会	入場料	開催日時	会場
藤井弘也氏(大分大学教授)	(長野)	と	3月10日(土)	とき
2月9日(木)18時	と	コンパルホール(文化ホール)	3月10日(土)	開演18時
文化会館第1会議室	こ	一般8百円・しようがい		
097-534-3436	問合せ	者・大学生以下5百円		
(共同法律事務所)	と	平和のための戦争展 in 大分		
090-2087-1186	問合せ	090-2087-1186		

声に出して読んでみましょう憲法九条

【戦争の放棄・戦力の不保持・交戦権否認】

- ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、國權の發動する戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、國際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- ②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。國の交戦権は、これを認めない。

赤とんぼの会事務局 〒八七〇-〇八五五 大分市豊饒四組 みんなの家
(TEL・FAX)097(544)8802(郵便振込)01540-10-12160
(ホームページ)http://aka-tombo.com/ (メール) aka-tombo@hotmail.co.jp

3・11未来へつなごう “いのちのわ”

@大分市 若草公園

3月10日・11日 青空マルシェ
10時~16時 (エコフリマ・トーク・映画・音楽ライブ)
3月11日
12時~ 菊地洋一さんの講演会
13時~ さよなら原発パレード
主催・さよなら原発おおいた実行委員会
<http://oita311.blogspot.com/>
問合せ 090-1348-0373 (小坂)

5月3日憲法記念日 講・演・会

講師 豊下 楢彦氏
(関西学院大学教授)
テーマ 「日米同盟と沖縄・日出生台」(仮題)
ところ 大分県教育会館
とき 5月3日 10:00~
と 参加料 無料
主催 平和憲法を守る会・大分他
問合せ 097-534-3436
(共同法律事務所)



名もなきひとむれ歩きます
5月3日 13時30分 大分駅噴水前より

九州は自然エネルギー開発の先進地なのですね。原発ゼロをめざして

岸田さん、色々なことを教えて下さいありがとうございました。
今年も何かでかいことやっていくこと。(ゆ)(れ)

